

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第43号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年2月5日 06時50分ごろ	
発生場所	長崎県松浦市 調川 <sup>つきのかわ</sup> 港北防波堤灯台から真方位216° 1,000m付近 (概位 北緯33° 21.02' 東経129° 43.24')	
事故等調査の経過	平成22年4月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 利根丸、199トン	
船舶番号、船舶所有者等	134568、利根海運有限公司	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船首船底付近に擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、鋼材約660トンを積載し、船首約2.8m、船尾約3.6mの喫水で、松浦市所在のバースに着岸作業中、船底が海底に存在した船台の跡に接触した。</p> <p>本船は、浸水等の異常がなかったので、揚げ荷終了後、その後の航海を続けた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約2～4m/s</p> <p>海象：潮汐 低潮期</p>	
その他の事項	<p>本船は、レーダー、GPSともに作動していた。</p> <p>船長は、初めての揚げ地だったため、荷主からバースの地図及び入港方法を事前に入手し、それに従って入港したが、バース付近の海底に船台の跡が存在することは知らされていなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、松浦市所在のバースの着岸作業中、同バース付近の海底に船台の跡が存在することを知らなかったことから、船底が船台の跡に接触したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、松浦市所在のバースに着岸作業中、同バース付近の海底に船台の跡が存在することを知らなかったため、船底が船台の跡に接触したことにより発生したものと考えられる。	